

教科	科目	単位数	学年	コース	組
数学	数学B	2	2	文系GA	1,2,3,4

教科書	数学B (数研出版)	副教材	REPEAT 数学Ⅱ+B (数研出版)
			項目別学習ノート ベクトル (数研出版)

科目の目標	数列、統計的な推測について理解し、基礎的な知識の習得と技術の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力
	を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度の育成を図る。

科目の概要	授業では、数学Cの第1章「平面上のベクトル」その後、数学Bの第1章「数列」、第2章「統計的な推測」を扱う。
	第2章「空間のベクトル」は3年次の授業で扱う予定である。

観点別評価			
3 観点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①知力・学力 ②課題対応力	③論理的思考力 ④原因分析力 ⑥受信・発信力	②課題対応力 ⑧行動力 ⑨自己管理能力
観点の評価	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化することや、数学的に解釈すること、数学的に表現・処理したりする技術を身に付ける。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断すること、標本調査の方法や結果を批判的に考察する力を身に付ける。	数学のよさを認識し数学を活用しようとするとともに、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとするとともに、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎力を身に付ける。
評価の方法	定期試験の設問で評価することを基本とし、状況に応じて小テスト等でも評価する。	定期試験の設問で評価することを基本とし、状況に応じて小テスト等でも評価する。	提出物（課題）や授業態度等で評価する。

学 習 計 画		
学期	学習内容(単元)	単元別学習目標
1 学 期	数学C 第1章 平面上のベクトル 第1節 平面上のベクトルとその演算 1. 平面上のベクトル      2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分      4. ベクトルの内積  <b>【1学期 中間試験】 5月19日～22日</b>	ベクトルの相等・加法・減法・実数倍の意味を理解すること同時に、その計算を習熟する。 ベクトルの内積を定義し、その意味と計算法則を理解する。また、成分表示での内積を考え、ベクトルの大きさとの関連を十分認識する。
	第2節 ベクトルと平面図形 5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形 7. ベクトル方程式  <b>【1学期 期末試験】 7月1日～7日</b>	位置ベクトルの考えを理解し、それを使って平面上の分点を表すことができることを学習する。 位置ベクトルによって、平面図形の性質を調べ、問題を解決するための有効な手段の1つを獲得したことを認識する。
2 学 期	数学B 第1章 数列 第1節 数列とその和 1. 数列 2. 等差数列とその和 3. 等比数列とその和 4. 和の記号Σ 5. 階差数列  <b>【2学期 中間試験】 10月14日～17日</b>	等差数列では数列の階差を考える事によってその規則を定め、第n項をnの式で表すことや、初項から第n項までの和を求めるといった、数列一般について興味の対象となることに触れ理解する。等比数列は、数列の一般論で特に重要な役割を果たすものであるので、一般項と、初項から第n項までの和を理解する。 和の記号Σの性質を理解し、扱いに習熟する。
	6. いろいろな数列の和  第2節 数学的帰納法 7. 漸化式と数列  第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 1. 確率変数と確率分布      2. 確率変数の期待値と分散 3. 確率変数の変換      4. 確率変数の和と期待値  <b>【2学期 期末試験】 12月1日～5日</b>	数列の項の間に成立する関係式である漸化式を取り上げ、帰納的に定義された数列の性質を明らかにする。  確率変数という用語の意味を理解する。確率変数の期待値（平均）・標準偏差について理解し、確率変数の種々の性質を理解する。
3 学 期	5. 独立な確率変数と期待値・分散 6. 二項分布      7. 正規分布  第2節 統計的な推測 8. 母集団と標本      9. 標本平均とその分布 10. 推定      11. 仮説検定  <b>【3学期 学年末試験】 3月4日～9日</b>	反復試行における、特定の事象が起こる回数を表す確率変数の確率分布として、二項分布を取り上げ、その概念や特徴を理解する。確率変数が連続変量である場合の確率分布として、正規分布を取り上げ、その概念や特徴を理解する。標本平均の分布と母集団の特性値との関係を理解する。仮説検定の意味を理解し、その手順をまとめる。